

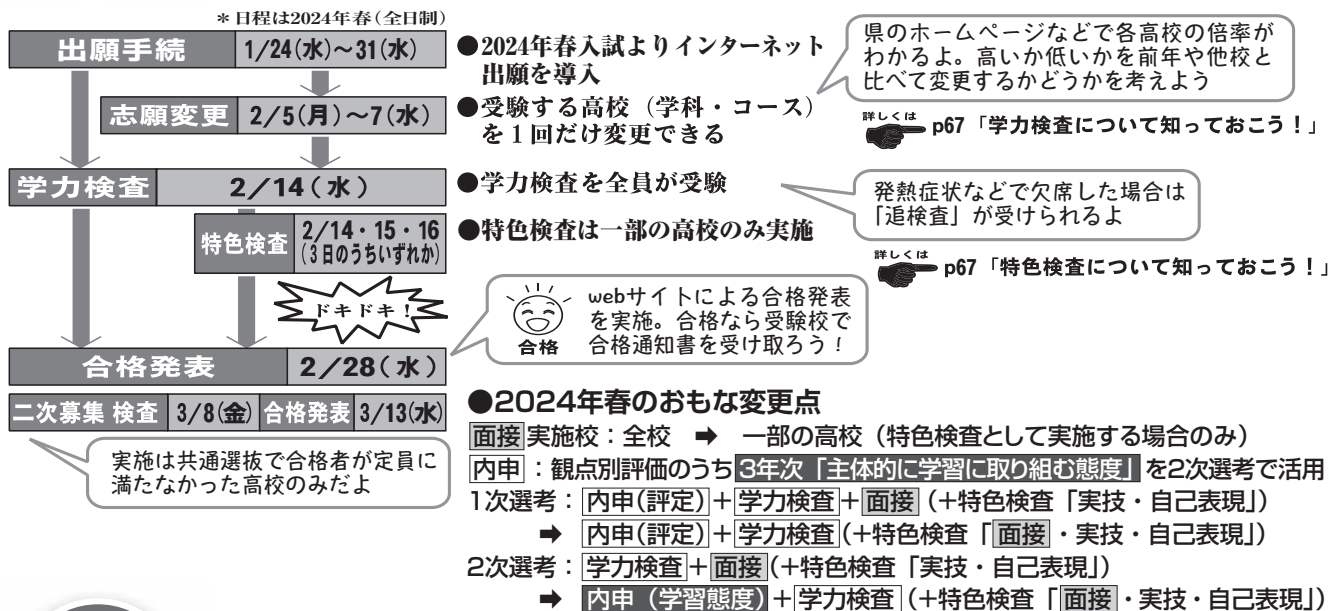
神奈川県公立高校の入試システム

〔2023年春→2024年春〕

基本の
『き』

1 入試の流れをチェックしよう！

2024年から「共通選抜」における入学者選抜の制度を一部変更



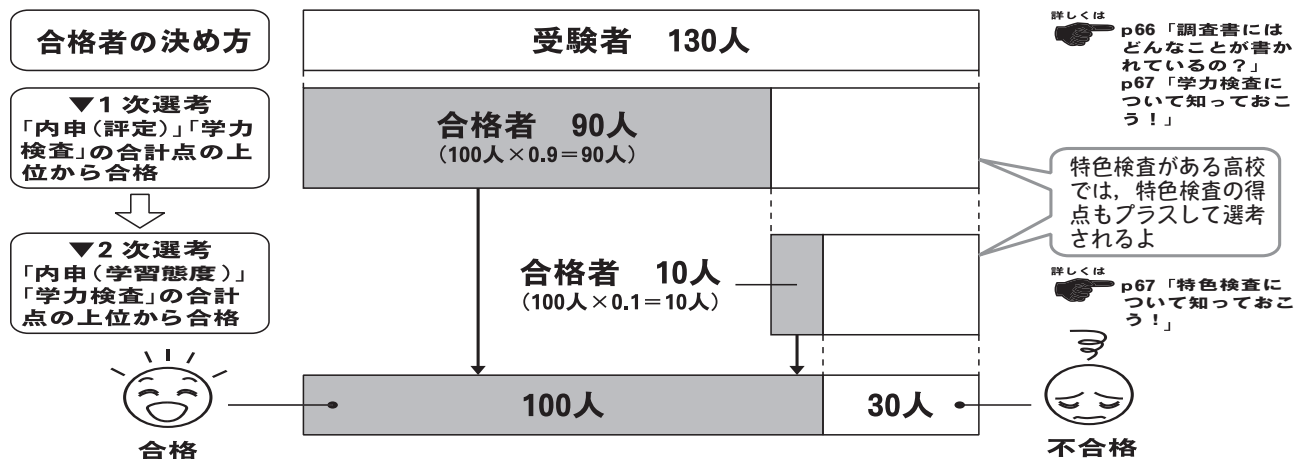
基本の
『き』

2 合格者はどうやって決めるの？

どの高校も1・2次の2段階で選考している

募集定員が100人、受験者130人の場合

1次選考が定員の90%まで、
2次選考が定員の残り約10%だよ



合格者を決める数値Sとは？

数値Sは選抜資料の合計点…点数の高い順に合格者が決まる

詳しくは p63 「数値Sの求め方！」

1次選考 S1 = 内申(評定) + 学力検査 + 特色検査(面接・実技・自己表現→実施校のみ)

1次・2次とも合計が1000点満点だよ

特色検査は100~500点満点だよ

2次選考 S2 = 内申(学習態度) + 学力検査 + 特色検査(面接・実技・自己表現→実施校のみ)

内申は1次と2次で取り扱う項目が違うよ

面接は2024年春から「全校実施→特色検査として実施校のみ」に変更

押さえて
おきたい
基礎知識

1 選抜はどのように行われるの？

高校によって「内申」「学力検査」の重みが違う

選抜方法

- 1 次選考→「内申(評定)」「学力検査」「特色検査^{*}」に各比率をかけた合計点の上位から合格
2 次選考→「内申(学習態度)」「学力検査」「特色検査^{*}」に各比率をかけた合計点の上位から合格

選抜枠

- 1 次選考→定員の90%まで
2 次選考→定員の残り約10%
*は実施校のみ
比率が2なら2倍に、比率が3なら3倍に…

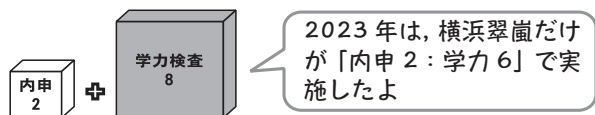
比率

- 1 次選考→内申(評定): 100点満点に計算し直した数値を2~8倍
学力検査: 100点満点に計算し直した数値を2~8倍
※2023年春は「内申」「学力検査」「面接」各100点満点を2~6倍(→合計10)
各比率の合計は必ず10に
→1000点満点
- 2 次選考→内申(態度): 100点満点に計算し直した数値を2~8倍
学力検査: 100点満点に計算し直した数値を2~8倍
※特色検査実施校は、特色検査の得点を100点満点に計算し直した数値を1~5倍にして加える(比率の合計は11~15→1100~1500点満点)
各比率の合計は必ず10に
→1000点満点
- 詳しくは p67 「特色検査について 知っておこう！」

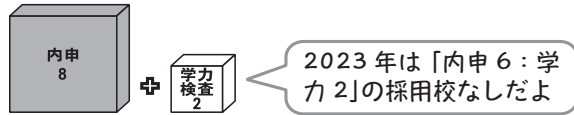
1 次選考

※2023年春は「内申」「学力検査」「面接」各100点満点を2~6倍(→合計10)

「学力検査最重視」パターン



「内申最重視」パターン

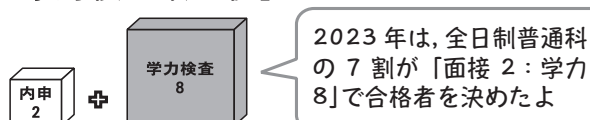


「学力検査・内申均等」パターン



2 次選考

「学力検査最重視」パターン



押さえて
おきたい
基礎知識

2 数値Sの求め方！

1000点満点の得点はこうして計算される

A高校をさくらさんが受験した場合

さくらさんの得点

内申(評定)	2 年次 9 教科合計 29 点 (45 点満点) 3 年次 9 教科合計 31 点 (45 点満点)	学力検査	300 点 (500 点満点)	内申(態度)	3 年次 9 教科合計 19 点 (27 点満点)
--------	--	------	-----------------	--------	---------------------------

それぞれを100点満点に換えるために計算し直す

①内申(評定)

$$\frac{29 + (31 \times 2)}{135} \times 100 = 67.41$$

3 年次は 2 倍
2 年次 9 科 × 5 = 45
3 年次 9 科 × 5 × 2 = 90
45 + 90 = 135
2 倍

②学力検査

$$\frac{300}{500} \times 100 = 60$$

満点 (5 教科 × 100 点)

③内申(学習に取り組む態度)

$$\frac{19}{27} \times 100 = 70.37$$

満点 (9 教科 × 3 点)
3 年次「主体的に学習に取り組む態度」を「A=3 点」「B=2 点」「C=1 点」として点数化

小数第 3 位を四捨五入

詳しくは p66 「調査書にはどんなことが書かれているの？」

A高校の比率

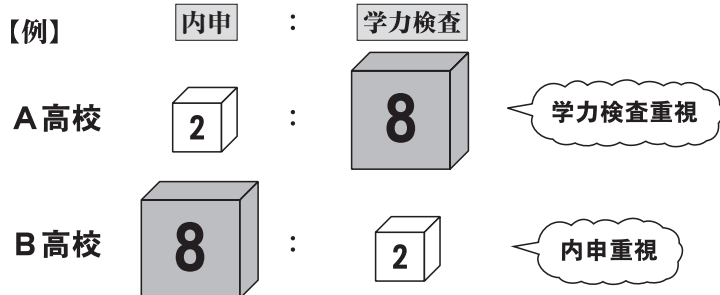
① ② ③
内:学:内
1 次 4 : 6
2 次 8 : 2

$$S1 (1 次) = ① 67.41 \times 4 \text{ 倍} + ② 60.00 \times 6 \text{ 倍} = 629.64$$

$$S2 (2 次) = ② 60.00 \times 8 \text{ 倍} + ③ 70.37 \times 2 \text{ 倍} = 620.74$$

1 次選考での比率の違いは？

各比率が大きい項目が得意項目だと有利になる



- ▶ 内申 と 学力検査 を 100 点満点に計算し直したとき、
 自分の得点が 内申 < 学力検査 なら、学力検査の比率が大きい A 高校のほうが高得点に！
 自分の得点が 内申 > 学力検査 なら、内申の比率が大きい B 高校のほうが高得点に！

入試をもっと深く知ろう

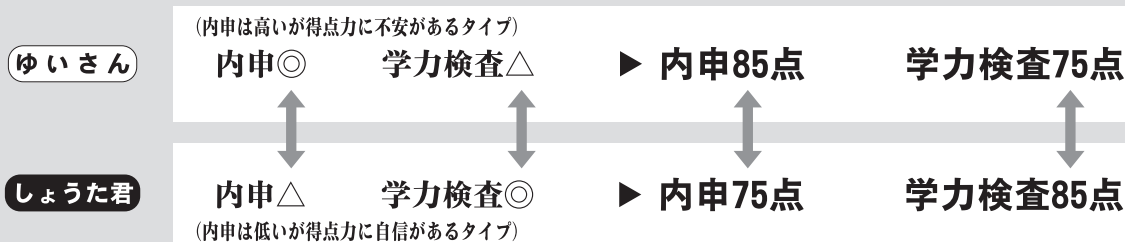
1 内申重視校と学力検査重視校ではどんなタイプの受験生が有利？

1 次選考で、「内申重視」の場合と、「学力検査重視」の場合で、合格・不合格はどのように違ってくるのかを、**ゆいさん**と**しょうた君**に登場してもらって、調べてみることにしましょう。

内申重視か学力検査重視かによる数値 S1 での合格者の違い

- ・タイプの違う **ゆいさん** と **しょうた君** の得点は下の通りです。内申・学力検査の点数は 100 点満点に換えるために計算し直したものです。

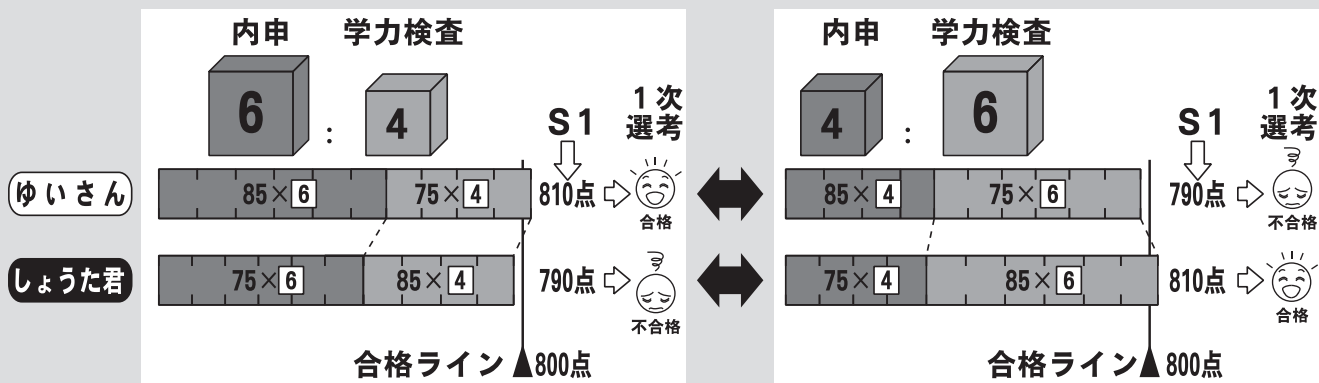
詳しくは p63 「数値 S の求め方！」



実際には各項目を 100 点満点に計算し直すときに小数第 3 位を四捨五入した数値を使いますが、ここでは整数で表示しました

・内申重視校と学力重視校を受けたときの合計点 S1 の違い

●内申重視校(合格ラインが 800 点のとき) ↔ ●学力重視校(合格ラインが 800 点のとき)



内申重視校も学力重視校も合格ラインは同じ 800 点。しかし、内申重視校と学力重視校では自分の合計点が変わるため、合格・不合格に逆転が起こる。

内申重視校では内申の得点が高い **ゆいさん** が合格しやすい、学力重視校では学力検査が高い **しょうた君** が合格しやすいことが具体的にわかる。

入試をもっと
深く知ろう2 内申の重みはどれくらい？（学力検査 5 教科実施で
重点化を行わない場合）

1次選考 内申（評定）1 点の重みは、学力検査の比率で0.93～14.81 まで変わる

内申（評定）1 点の重み

内申（評定）1 点が学力検査何点分にあたるかを示した数字

内申 : 学力検査

2 : 8

内申の
重み

1 点

=

0.93点

3 : 7

1 点

=

1.59点

4 : 6

1 点

=

2.47点

5 : 5

1 点

=

3.70点

6 : 4

1 点

=

5.56点

7 : 3

1 点

=

8.64点

8 : 2

1 点

=

14.81点

【計算方法】

$$\frac{500}{135} \times \frac{\text{内申(内申)の比率}}{\text{学力検査の比率}}$$

学力検査重視



内申10点分を学力検査でばん回するには…「内申：学力検査」＝「2 : 8」の高校では、

学力検査で 9 点（ $10 \times 0.93 \approx 9$ ）とればよい。⇒ 学力検査重視の比率なら、十分にばん回できる。「内申：学力検査」＝「8 : 2」の高校では、学力検査で148点（ $10 \times 14.81 \approx 148$ ）とらなければならない。

⇒ 内申重視の比率では、ばん回がかなり難しい。

2次選考 内申（学習態度）1 点の重みは、学力検査の比率で4.63～74.07 まで変わる

内申（学習態度）1 点の重み

内申（学習態度）1 点が学力検査何点分にあたるかを示した数字

内申 : 学力検査

2 : 8

内申の
重み

1 点

=

4.63点

3 : 7

1 点

=

7.94点

4 : 6

1 点

=

12.35点

5 : 5

1 点

=

18.52点

6 : 4

1 点

=

27.78点

7 : 3

1 点

=

43.21点

8 : 2

1 点

=

74.07点

【計算方法】

$$\frac{500}{27} \times \frac{\text{内申(学習態度)の比率}}{\text{学力検査の比率}}$$

学力検査重視



内申1点分を学力検査でばん回するには…「内申：学力検査」＝「2 : 8」の高校では、

学力検査で 5 点とればよい。⇒ 学力検査重視の比率なら、十分にばん回できる。

「内申：学力検査」＝「8 : 2」の高校では、学力検査で74点とらなければならない。

⇒ 内申重視の比率では、ばん回がかなり難しい。

知っておく
ためになる
知識

1 調査書にはどんなことが書かれているの？

学習成績や中学校生活のようすを中学校の先生が記入

第11号様式 令和4年度卒業（見込）者用

調 査 書

※ 受検番号

志願先 高等学校	立		科		高等学校 (コース・部)	
フリガナ	氏 名		入学年月	平成・令和 第 年 月 日	中学校 入学・編入学	
生年月日	平成 〇〇 年 〇 月 〇〇 日生	転入学年月	平成・令和 第 年 月 日	中学校	転入学	
現住所	〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号		卒業年月	令和 〇 年 3 月 同 中学校	卒業見込・卒業	

教科	観点別学習状況	2 年 次		3 年 次		学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
		評価	評定	評価	評定			
国語	知識・技能	A	4	A	4	2 年	市町村の福祉政策について知る。	市役所で資料を収集し、市の福祉政策を具体例とともにまとめた。
	思考・判断・表現	A		A				
	主体的に学習に取り組む態度	B		B				
社会	知識・技能	A	5	A	5	3 年	地域で盛んな産業を知る。	地域の企業を訪問し、インタビューをもとに、地域産業を活性化させる方法をまとめた。
	思考・判断・表現	A		A				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
数学	知識・技能	B	4	B	4			
	思考・判断・表現	B		A				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
理科	知識・技能	B	3	B	4			
	思考・判断・表現	B		A				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
音楽	知識・技能	B	2	B	2			
	思考・判断・表現	B		C				
	主体的に学習に取り組む態度	C		C				
美術	知識・技能	B	3	B	4			
	思考・判断・表現	B		A				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
保健体育	知識・技能	B	4	B	4			
	思考・判断・表現	A		A				
	主体的に学習に取り組む態度	A		A				
技術・家庭・（外国語）	知識・技能	B	3	B	3			
	思考・判断・表現	B		B				
	主体的に学習に取り組む態度	B		B				
小計 ※			32		35			
計 ※			102					

本書の記載事項に誤りのないことを証明する。
令和 〇 年 〇 月 〇 日
中学校名 〇〇〇 中学校
校長氏名 〇〇 〇〇 印
記載者氏名 〇〇 〇〇 印

→面接の資料(実施校のみ)
2・3 年次それぞれの具体的な学習活動の内容、活動のようす、特徴が記載されます。

→面接の資料(実施校のみ)
中学校 3 年間での学級活動・生徒会活動・学校行事のようすと、所属していた部活動名が記載されます。

→面接の資料(実施校のみ)
中学 3 年間を通じて、具体的事実をもとにした学校生活全般にわたる行動のようすやすぐれた活動内容が記載されます。

(2023 年春用)

観点別学習状況⇒各教科で「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つ観点について高い順にA・B・Cで評価され、その組み合わせによって「評定」がつけられます。2024年入試からは3年次の「主体的に学習に取り組む態度」が「A=3点」「B=2点」「C=1点」の9教科合計27点満点で点数化され、学力検査の結果とあわせて2次選考の判定に利用されます。

内申(評定)⇒1次選考で使うS1を求めるための資料
2年次と、3年次の2学期(2学期制の中学校は12月末)の各教科の内申(評定)が、高い順に5～1で記載されます。この内申が1次選考の合格者を決める資料のひとつです。内申は5が最高点なので、2・3年次のそれぞれの満点は5×9教科=45点満点です。1次選考では、2年次の内申45と、3年次の内申45を2倍したものの合計点が用いられるため、45+45×2=135点満点となります。

知っておく
ためになる
知識

2 学力検査について知っておこう！

学力検査は、英語・数学・国語・社会・理科の5教科(各100点・50分)です。ただし、特色検査を行う高校では、学力検査を3～4教科で行うことができます。

2023年入試で、全日制では次の高校が3～4教科で学力検査を実施しました。また、2013年より学校独自問題が廃止され、全県共通問題になっています。

3 教科 (英数国) 神奈川工業・市立川崎総合科学(デザイン科)
上矢部・白山(美術科) 相模原弥栄(美術科・音楽科)

4 教科 (指定教科 + 選択) 神奈川総合(舞台芸術科)
…「英・国・数」+「理・社から1教科選択」

■学力検査の時間割 (2023年入試参考)

*英語はリスニングを含む。

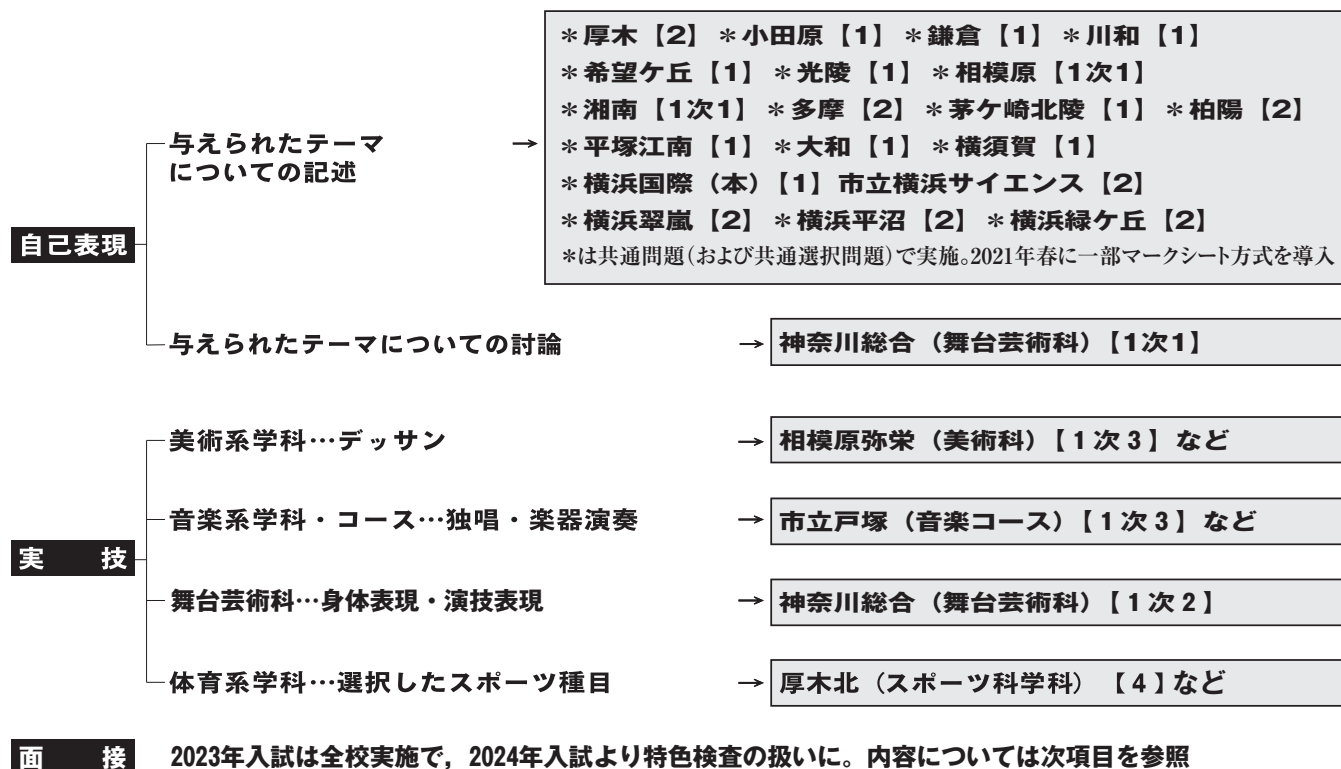
検査についての注意	英語	国語	数学	昼食	理科	社会
8:50～9:10	9:20～10:10	10:30～11:20	11:40～12:30		13:20～14:10	14:30～15:20

知っておく
ためになる
知識

3 特色検査について知っておこう！

高校の判断で「自己表現」「実技」「面接(2024年入試より)」の実施が可能

▶2023年入試で検査を実施したおもな高校【 】内の数字は特色検査の比率



特色検査点はこのように決まる



各高校が決めた評価基準をもとにして点数化したものを100点満点に計算し直し、各高校が決めた比率で1～5倍したものが特色検査点となります。

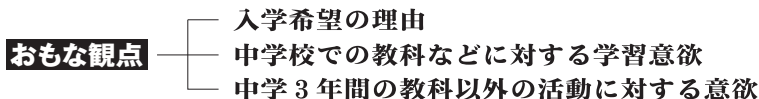
知っておく
ためになる
知識

4 面接で聞かれるのは？

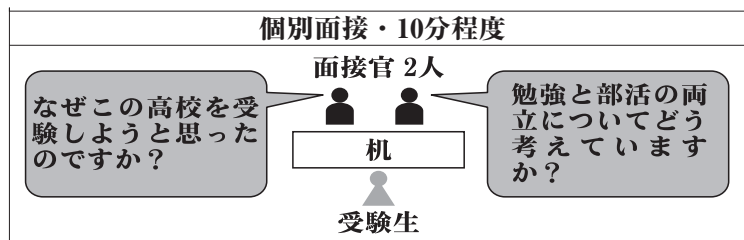
「志願理由」「学習意欲」などについて聞かれる

面接は各高校の判断により「特色検査」として実施されます。

高校ごとの観点があり、それをもとにして質問されます。



▶各高校の面接
のようす【例】



評価基準 【例】 各高校で決めた下のような評価基準をもとに評価され、面接点として点数化されます。

評価の観点	評価	評価の尺度	評 価 基 準
高校でどのように勉強したいか？	◎	優れている	ポイント 高校での学習に対する意欲 ・内容が具体的で、自分から積極的に取り組もうとするようなものとなっている。 ・内容は具体的ではないが、自分から積極的に取り組もうとする姿勢が感じられる。 ・自分から積極的に取り組もうとする姿勢が感じられない。
	○	満足できる	
	△	満足できる水準を下回っている	

面接を受けるときの注意点

面接官は何をチェックする？ 「態度」「ことばづかい」「服装」「髪型」など

具体的にどんなことが聞かれる？ 「将来の進路を実現するために心がけていること」「中学時代に一生懸命取り組んだこと」「高校でやりたいこと」「今いちばん興味があること」「自分の性格」「友人関係」など

面接点はこのように決まる

各面接官の評価を観点ごとに適正に点数化したものを100点満点に計算し直し、1次選考・2次選考でそれぞれ1～5倍したものが面接点となります。例えば、面接の結果が80点で、面接の比率が「2」なら、面接点は80点×2＝160点となります。

知っておく
ためになる
知識

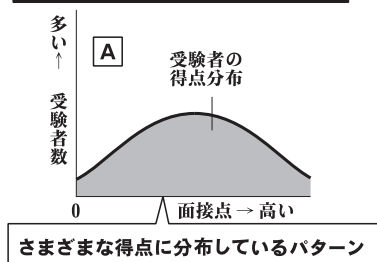
5 面接での受験者の得点分布はどのようなになる？

面接の点数をつける方法は高校によりさまざま

面接で差がつきやすい得点分布、差がつきにくい得点分布

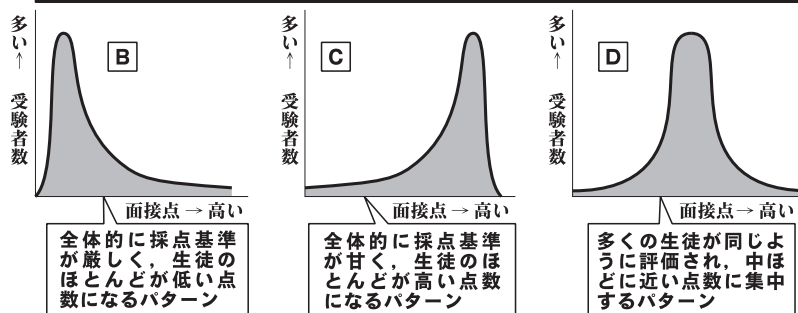
面接は、点数のつけ方が高校ごとに違うため、自分がどの程度得点できるのか判断しにくい選抜資料です。面接の得点分布（受験者の分布のしかた）には次のケースが考えられます。

面接で差がつきやすい！



「学力検査・内申が低めでも合格」
「高めでも不合格」になりやすい！

面接で差がつきにくい！



学力検査・内申だけで合否が決まりやすい！

知っておく
ためになる
知識

6 受験できる高校に制限はあるの？

→ 神奈川県内の生徒が受験できる高校は次のとおりです。

県立

学区制限はなく、県内の全地域からすべての高校を受験できる

横浜市立

横浜サイエンス・戸塚(音)・横浜商業 → 学区制限なし
金沢・南 → 市外生30%以内
桜丘・戸塚(一般)・東・みなと総合 → 市外生8%以内

川崎市立

幸(普通)・高津・橘(普通) → 市外生8%以内

横須賀市立

横須賀総合 → 学区制限はなく、県内のすべての地域から受験できる

知っておく
ためになる
知識

7 重点化って何？

重点化

特定の教科の配点を大きくすること

内 申… 1～3教科の範囲で最大2倍まで
学力検査… 1～2教科の範囲で最大2倍まで

→ 重点化される教科が得意な場合には、その教科の点数が大きく扱われて有利になるので必ずチェックしておきましょう！ また、学力検査で高得点の教科を重点化する場合、結果的に平均点が低い教科で、高得点となると有利です。しかし、平均点が高いか低いかは事前にはわからないため、各教科とも実力を出し切るようにしましょう。

内申 【例】追浜(2023年春)「英・数・国を各2倍」

通常	… (9教科 × 5) 2年次 + (9学科 × 5 × 2) 3年次	= 135点満点
重点化	… (6教科 × 5 + 3教科 × 5 × 2倍) 2年次 + (6教科 × 5 × 2 + 3教科 × 5 × 2倍 × 2) 3年次	= 180点満点
	英・数・国を各2倍	英・数・国を各2倍

学力検査 【例】市立金沢(2023年春)「英を1.5倍、数を1.2倍」

通常	→ 5教科 × 100点	= 500点満点
重点化	→ 3教科 × 100点 + 100点 × 1.5 + 100点 × 1.2	= 570点満点
	(国・社・理)	英を1.5倍 数を1.2倍

知っておく
ためになる
知識

8 絶対評価？ 相対評価？

→ 絶対評価に変わり、5と4の割合が拡大

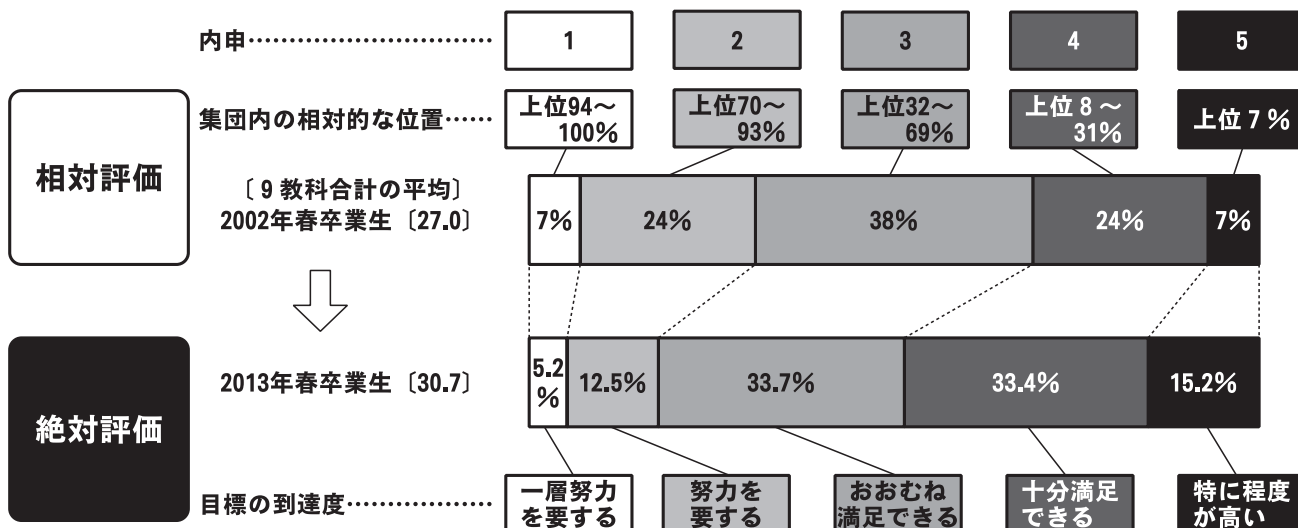
内申(評定)は、2002年度の中学の学習指導要領改訂に伴い、2003年春の卒業生より相対評価から絶対評価に変わりました。相対評価での5段階の内申は「5」「1」各7%、「4」「2」各24%、「3」38%という配分が決まっていた。一方、絶対評価では、指導要領に示された目標にどれくらい達しているかによって5段階で評定され、配分の制限はありません。

次ページの絶対評価のグラフは、2013年春卒業予定者の第3学年2学期の9教科平均による各内申の割合を示したものです。相対評価と比べて「5」「4」の割合が大きくなり、「2」「1」が小さくなっ

ています。つまり、絶対評価に変わって、内申が高めにつけられていることがわかります。

絶対評価では、各内申の配分が決まっていなかったため、中学校や地域によって配分に違いが出てきます。調査書には内申とあわせて各教科の観点別評価が3段階で記入されています。観点別評価をもとに各教科の内申を決めるため、観点別評価と一緒に記載することによって内申が適正につけられているかどうかある程度高校側でもわかるようになりました。なお、絶対評価に変わってから各評定にあまり大きな変化がないことから、2014年からは調査を取りやめています。

絶対評価と相対評価の分布の違い【例】



※絶対評価5～1の各内申の％は、神奈川県内公立中学校の2013年春卒業予定者の第3学年2学期の各内申の割合(9教科平均)

*2014年春卒業生からは調査を取りやめています。

知っておく
ためになる
知識

9 各高校の比率一覧 (選抜方法変更前の2023年春参考)

1次「内申：学力検査：面接」は「3：5：2」「4：4：2」が主流

2次「学力検査：面接」は「8：2」が7割,「7：3」が2割

全日制・単位制普通科，総合学科，市立横浜サイエンスフロンティア，横浜国際を掲載しました。

■第1次選考の比率【評定：学力検査：面接】(2023年春参考) *は特色検査実施校

内申	学力検査	面接	学校数(全体に占める割合)
2	6	2	1校 (0.8%) *横浜翠嵐
3	5	2	31校 (25.6%) *厚木 海老名 大船 *小田原 神奈川総合(個性/国際) 市立金沢 *鎌倉 *希望ヶ丘 *光陵 座間 七里ガ浜 *湘南 住吉 *多摩 *茅ヶ崎北陵 *柏陽 秦野 市立東 *平塚江南 藤沢清流 市立南 *大和 大和西 *横須賀 横須賀大津 市立横須賀総合 *市立横浜サイエンスフロンティア 横浜栄 横浜清陵 横浜氷取沢 *横浜緑ヶ丘
4	4	2	73校 (60.3%) 麻生 麻生総合 旭 麻溝台 足柄 厚木北 厚木清南 厚木西 厚木東 有馬 生田 生田東 伊志田 伊勢原 市ヶ尾 大磯 小田原東 迫浜 金井 金沢総合 上鶴間 上溝 上溝南 上矢部 川崎 川崎北 *川和 岸根 霧が丘 港北 市立幸 *相模原 相模原弥栄 市立桜丘 座間総合 湘南台 松陽 城郷 新栄 新城 菅 逗子葉山 西湘 市立高津 高浜 市立橋 茅ヶ崎 茅ヶ崎西浜 津久井浜 鶴見 鶴見総合 鶴嶺 市立戸塚 新羽 橋本 秦野総合 秦野曾屋 深沢 藤沢総合 藤沢西 舞岡 市立みなと総合 元石川 山北 大和南 百合丘 横浜桜陽 *横浜国際 横浜瀬谷 横浜立野 横浜南陵 *横浜平沼 横浜緑園
5	3	2	16校 (13.2%) 愛川 綾瀬 綾瀬西 荏田 相模田名 相模原城山 寒川 大師 津久井 永谷 二宮 白山 平塚湘風 保土ヶ谷 三浦初声 横浜旭陵

学力検査重視

知っておく
ためになる
知識

10 公立高校の再編と入試改革のあゆみ

神奈川県公立高校では、さまざまな学校再編や入試改革が行われてきました。2000年から10年にわたった「県立高校改革推進計画」により1999年時点で122校あった全日制普通科高校は82校に削減されました。2017年以降は「県立高校改革実施計画」(I・

II期)による再編も行われています。2022年発表の「入学者選抜改善方針」に沿って、2024年春からは面接が特色検査の扱いとなり、1次選考では「内申(評定)」「学力検査」、2次選考では「学力検査」「内申(観点別評価)」による選抜が行われます。

～2010年までのおもな入試改革

1953年…ア・テスト(アチーブメントテスト)を入試選抜資料として取り入れる	1978年…「推薦」導入(農業科・水産科のみ)	1997年…ア・テスト廃止	2004年…推薦→前期選抜、一般→後期選抜に移行	2005年…県立高校普通科一般コースの学区撤廃
年 度	おもな再編・推進事業	おもな入試改革(変更点)		
2013年 (平成25年)	再編 津久井(福祉コース→福祉科) 市立南(単位制→学年制)	- 前期選抜・後期選抜を共通選抜に一本化 - 学力検査と面接を全員に実施 - 特色検査として自己表現・実技を実施可 「調査書(4～6):学力検査(4～6)」の比率を「内申(2～6):学力検査(2～6):面接(2～6)」に変更		
2014年 (平成26年)	再編 市立川崎(併設中学を開校し、二部制定時制を新設) 市立戸塚(芸術コースを設置)	S G H (～2018年) 横浜国際、市立横浜サイエンスフロンティア		
2015年 (平成27年)	S S H (～2019年) 市立横浜サイエンスフロンティア	S G H (～2019年) 市立南		
2016年 (平成28年)	推進校 理数教育推進校: 希望ヶ丘・相模原・多摩・平塚江南・横須賀 総合・鎌倉・大和・西・横須賀明光・横浜平沼 国際バカロレア認定推進校: 横浜国際	グローバル教育研究推進校: 小田原・神奈川 S S H (～2020年) 横須賀		
2017年 (平成29年)	再編 大師・横浜清陵総合[→横浜清陵]・横浜緑園総合[→横浜緑園]…単位制普通科に改編 大井・大和東…クリエイティブスクールに改編 生田(自然科学)・荏田(体育)・西湘(理数)・横浜南陵(健康福祉) など…専門コース募集停止 厚木北…スポーツ科学コース→スポーツ科学科 上矢部…美術陶芸コース→美術科 白山…美術コース→美術科 横浜国際…国際情報科→国際科 弥栄…普通科・音楽科・美術科・スポーツ科学科に改編 市立横浜サイエンス…中学設置 川崎市立商業[→市立幸]…普通科設置			
2018年 (平成30年)	再編 三浦臨海・平塚農業初声分校[→三浦初声]…統合 磯子・相模原青陵・横須賀明光(国際科) …募集停止 推進校 (～2021年) 学力向上進学重点校: 厚木・湘南・柏陽・横浜翠嵐(湘南・横浜翠嵐は2017年10月に先行指定) S S H (～2022年) 希望ヶ丘			
2019年 (平成31年 令和元年)	再編 吉田島…生活科学科設置 横浜国際…国際バカロレアコース新設 S S H (～2023年) 相模原・多摩	横浜翠嵐・柏陽・湘南・厚木・希望ヶ丘・横須賀・平塚江南の自己表現の出題を共通化		
2020年 (令和2年)	再編 氷取沢・磯子[→横浜氷取沢]…統合 弥栄・相模原青陵[→相模原弥栄]…統合 横須賀明光・大楠[→横須賀南]…統合 高浜・平塚商業(定時制)[→高浜]…統合 S S H (～2024年) 厚木・平塚江南	川和・多摩・光陵・横浜平沼・横浜緑ヶ丘・鎌倉・茅ヶ崎北陵・小田原・大和・相模原を加えた17校で自己表現の出題を共通化		
2021年 (令和3年)	再編 瀬谷西・逗子・相模原総合…募集停止 神奈川総合…舞台芸術科設置 市立川崎…外部募集停止 S S H (～2025年) 横須賀	- 郵送出願・ネット合格発表に変更 - 自己表現の共通問題にマークシートを導入		
2022年 (令和4年)	再編 横須賀工業…建設科設置 海洋科学…船舶運航科・水産食品科・海洋無線技術科・海洋資源環境科に移行 S S H (～2026年) 横浜緑ヶ丘・市立横浜サイエンス	横浜国際を加えた18校で自己表現の出題を共通化		
2023年 (令和5年)	再編 瀬谷・瀬谷西[→横浜瀬谷]…統合 逗葉・逗子[→逗子葉山]…統合 城山・相模原総合[→相模原城山]…統合 S S H (～2027年) 希望ヶ丘・小田原			
2024年 (令和6年) 〔予定〕	再編 《2024年》厚木東・厚木商業…統合 《2025年》横浜旭陵・永谷・深沢…募集停止 《2026年》田奈・麻生総合…統合 《2027年》旭・横浜旭陵…統合 横浜桜陽・永谷…統合 藤沢清流・深沢…統合	《2024年》1次選考を「内申(2～8):学力検査(2～8)」に、2次選考を「学力検査(2～8):3年次観点別評価(2～8)」に変更 ・ネット出願を導入		

S S H…文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール S G H…文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクール